



環境フェスティバルふくおか2024

実施報告書

annonce
株式会社アノンセ





開催概要 P3

啓発イベント①ソラリアゼファ

 会場図 P4

 ステージイベント P5

 廃材アート展 P6

 ポップアップショップ P7

啓発イベント②ふれあい広場

 会場図 P8

 デロリアン展示 P9

 フリーマーケット P10

 なおして使うマルシェ P11

 次世代自動車展示・試乗会 P12

 出展団体・企業 P13

 FCパッカー車 P14

 水素バス・WOOD WORKING BUS P15

 ドゲンジャーズステージ P16

 その他 P17

 アンケートに関して P18

 デジタルスタンプラリー P19

 同時開催イベント P20

体験ツアーイベント

 実施概要 P21

 【01】トヨタ自動車九州宮田工場見学ツアー P22

 【02】福岡バイオフードリサイクル工場見学ツアー P22

 【03】ためとつと&植物園見学ツアー P23

 【04】「FUNクリーンアップデート」体験ツアー P23

 【05】再生可能エネルギーツアー P24

 【06】日本ミツバチの「博多ハニー」採蜜体験ツアー P24

アンケート結果

 啓発イベント P25～P29

 体験ツアーイベント P30～P34

1.開催目的

市民団体、事業者、学校、行政の共働により、環境保全・創造に関する情報や体験を提供することで市民の行動変容及びライフスタイルの転換を図るとともに、環境保全・創造に取り組む市民団体、事業者等の情報交換の場を提供し、各主体が連携しながら活動の環を広げるきっかけを作ることを目的とする。

2.テーマ

☑脱炭素社会の実現(CN) ☑循環経済の確立(CE) ☑生物多様性の回復(NP)

3.啓発イベント

☑日程:2024年10月26日(土)～2024年10月27日(日)

☑時間:10時00分～16時00分

☑会場:ソラリアゼファ・福岡市役所西側ふれあい広場

☑来場者数:

ソラリアゼファ 計 約800名

ふれあい広場 計 約23,100名

- ①ソラリアゼファ
- ステージイベント
 - 廃材アート展
 - ポップアップショップ

- ②福岡市役所西側ふれあい広場
- デロリアン展示撮影会
 - ふれあい蚤の市(フリーマーケット)
 - なおしてつかうマルシェ開催
 - 次世代自動車展示・試乗会
 - 各企業・団体出展
 - FCバツカー車ごみ投入体験
 - 水素バス展示
 - WOOD WORKING BUS
 - ドゲンジャーズスペシャルステージ ほか

- ③同時開催イベント
- THINK for the OCEAN
 - ランドセル+αプロジェクト ランドセルランド
 - MY earth カードゲーム大会

4.体験ツアーイベント

左記会場以外の場所で体験型イベントを実施

☑日程:2024年9月16日/9月21日/9月29日/10月5日/10月12日

☑時間並びに会場:各ツアー毎

☑内容:工場見学・清掃活動・採蜜体験など

☑協力団体・企業一覧(五十音順)

一般社団法人ふくおかFUN/NPO法人博多ミツバチプロジェクト/株式会社大建/九州三菱自動車販売株式会社/九電みらいエナジー株式会社/トヨタ自動車九州株式会社/福岡市植物園/福岡バイオフードリサイクル株式会社

5.協賛企業・団体(五十音順)

イオン九州株式会社/一般社団法人JBRC/エフコープ生活協同組合/花王グループカスタマーマーケティング株式会社/株式会社NTTドコモ九州支社/株式会社NTTファシリティーズ・NTTアノードエナジー株式会社/株式会社オーレックホールディングス/株式会社JEPLAN/株式会社セブン-イレブン・ジャパン/株式会社大建/株式会社西日本シティ銀行/株式会社福岡銀行/株式会社福岡クリーンエナジー/川上産業株式会社/九州電力株式会社/公益財団法人自動車リサイクル促進センター/公益財団法人ふくおか環境財団/公益社団法人福岡県産業資源循環協会福岡支部/西部ガス株式会社/大和ハウス工業株式会社九州支社/福岡市地球温暖化対策市民協議会/福岡バイオフードリサイクル株式会社
他イベント協力等

会場を2分割し、廃材アート展とエシカル商品のポップアップショップを展開。中央にステージを設け、警固公園側からの導線を大きく確保することにより、通りすがりの方にも立ち寄りやすい雰囲気を作った。実際に、通行客が足を止める姿も多々見られた。

☑ステージイベント

WoWキツネザルの地球まるごとクイズショー

環境エンターテイナーのWoWキツネザルが総合司会となり、学生とのクイズショーを開催

・開催日程:10月26日(土)のみ

・開催時間:13:30~15:00

・出演者:WoWキツネザル(総合司会)

【参加校】

西南学院大学 小出ゼミ First / 中村学園大学短期大学部 食物栄養学科

福岡工業大学附属城東高等学校 科学部 / 福岡大学ボランティアサークル愛好会

☑廃材アート展

「私たちの裏側」展~福岡の日常にあるものを見て、触れて、聴く~

日常的に使用している身近なものをリサイクル。アート作品として展示&販売

・開催日程:10月26日(土)~10月27日(日)

・開催時間:10:00~16:00

・出展企業:ACTA+(アクタプラス) / 株式会社西鉄エージェンシー

ACTA+ SCRAP ART
PRODUCED BY NISHITETSU

☑ポップアップショップ

エシカルポップアップショップ

アップサイクル商品やエシカル製品のポップアップショップを展開

・開催日程:10月26日(土)~10月27日(日)

・開催時間:10:00~16:00

・出展企業

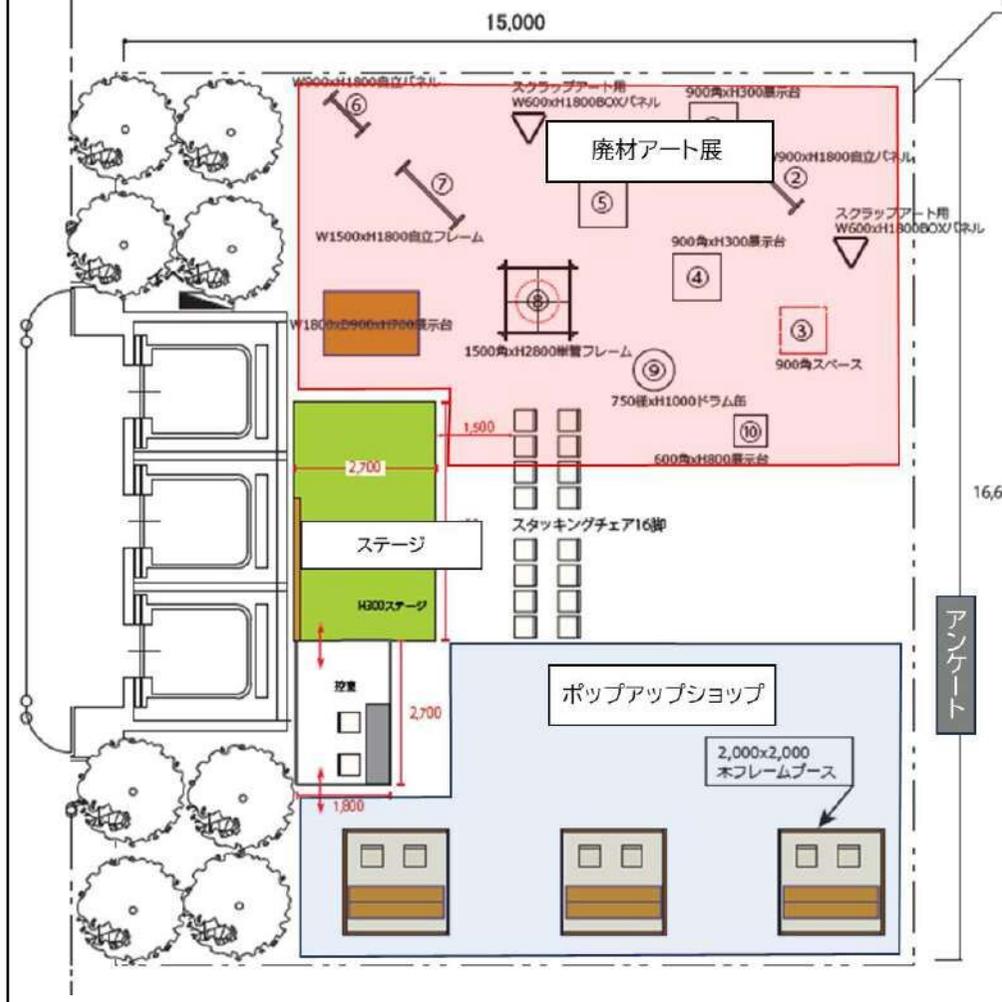
MATERIAL MARKET(マテリアルマーケット)

GOOD DAILY HUNT(グッドデイリーハント)

ippo upcycle(イッポアップサイクル)



☑会場図面



ステージイベント WoWキツネザルの地球まるごとクイズショー

- ☑大会ルール: トーナメント形式の環境系クイズ大会。予選を2回開催し、各予選を勝ち上がった学校が本戦へと進み決勝戦を行った。
- ☑ステージスケジュール(13:30~15:00開催) ・オープニング(13:30~) ・予選①(13:35~) ・予選②(13:50~) ・本選(14:20~) ・エンディング(14:50~)



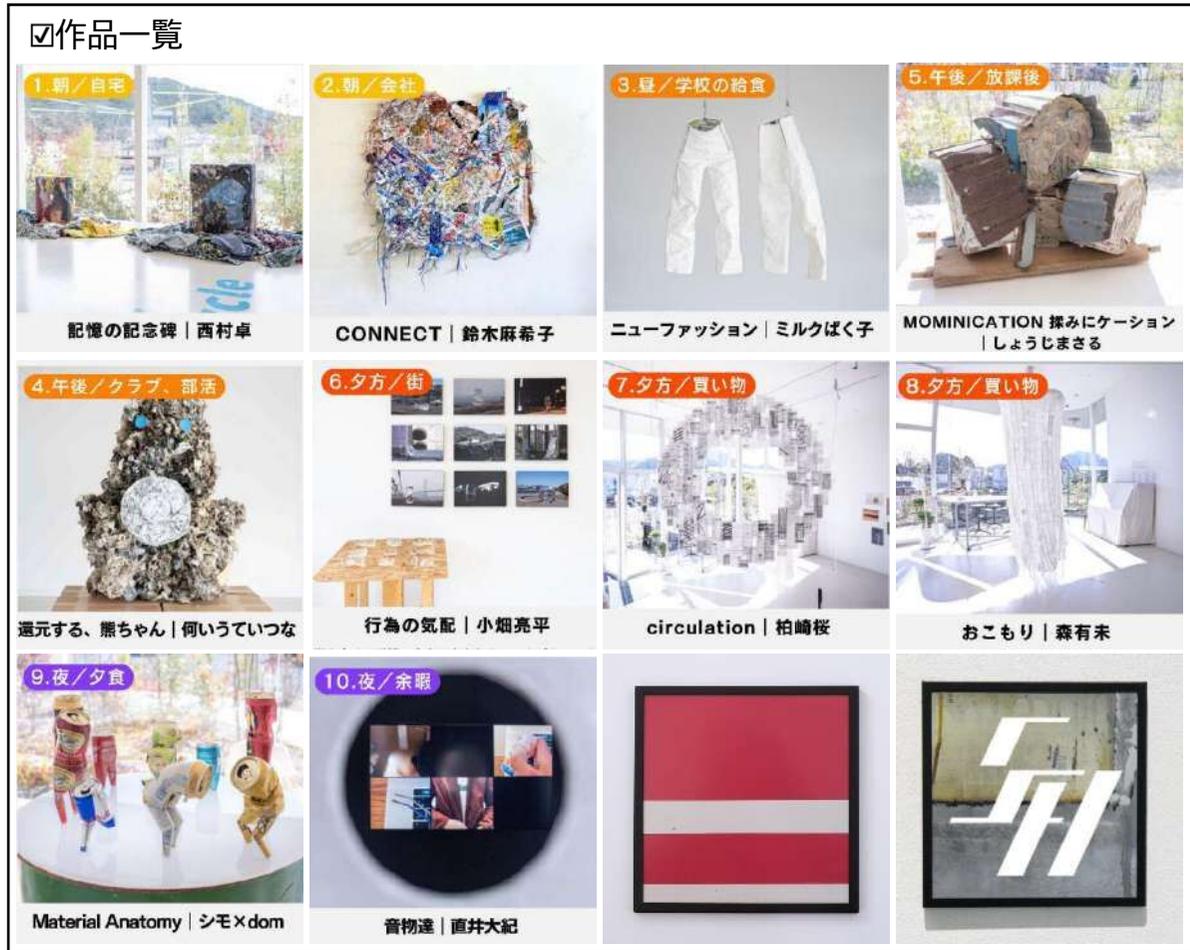
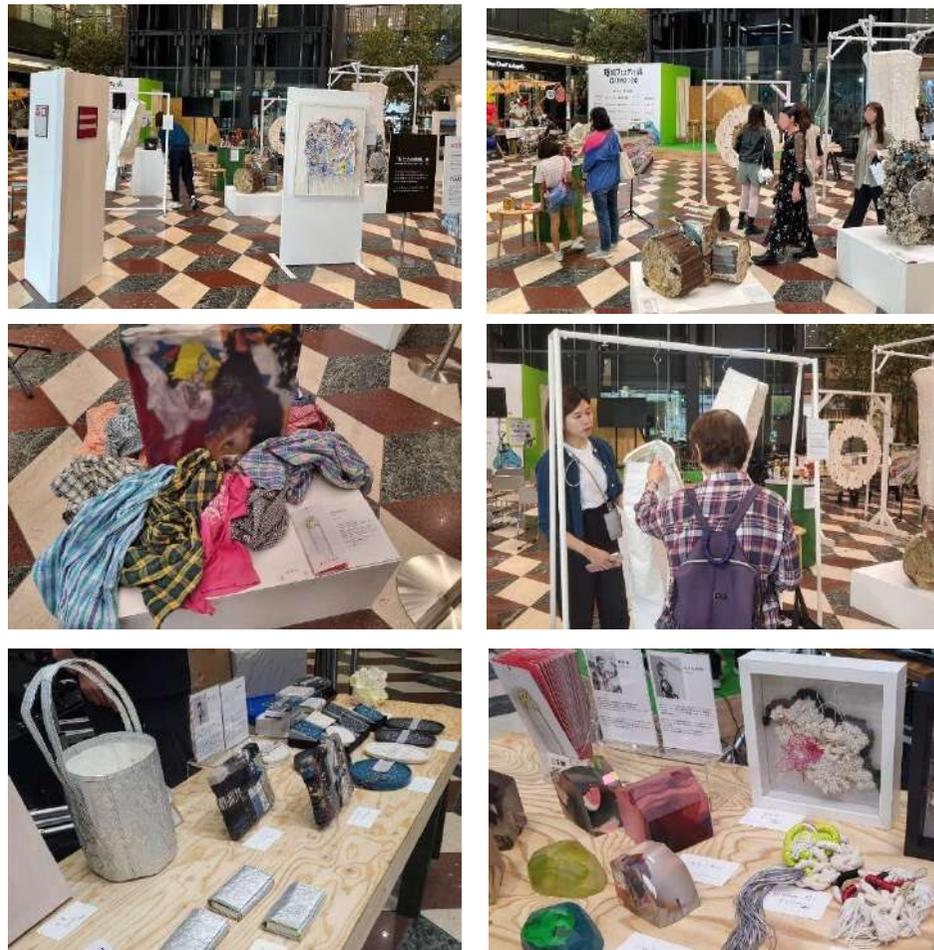
環境系エンターテイナーのWoWキツネザル氏が総合司会を務め、トーナメント形式のクイズ大会を開催した。記述式と〇×クイズがあり、問題によっては難問もあったが、参加した学生たちはチーム内で話しあいながら、日頃の学習の成果を発揮していた。ステージイベント中は2階の吹き抜けからも観覧している姿が見られ、WoWキツネザル氏のパフォーマンスに会場は大いに盛り上がった。学生からも「今回のクイズ大会へ出場するにあたって改めて環境問題について勉強する機会ができ、まだ知らないことがたくさんあるんだ、と実感した。」「環境問題に関してこれまで以上に関心が高まった。」などの声が上がっていた。



優勝者には「地球を救うヒーロー認定証」、また参加者全員にSDGsに積極的に取り組んでいるサラヤ(株)のオリジナルエコバッグが進呈された

廃材アート展「私たちの裏側」展～福岡の日常にあるものを見て、触れて、聴く～

本来であれば捨てられるはずの物を、アーティストとともにアートに生まれ変わらせる事業や、アートコンテストを主催し、その作品のインターネット販売などを行う「ACTA+ (アクタプラス)」と、廃車となった路線バスの車体を手作業でカットし、ミリ単位で加工したものをアート作品として蘇らせるプロジェクト「SCRAP ART(スクラップアート)」との共同展示を開催した。



展示されているアート作品に足を止め、作品に掲示されている説明に感心しながらひとつひとつの作品を丁寧に見て回る方や、大きなオブジェに目を見張る子どもの姿などがあった。アートに馴染みの深い海外からの旅行者などが鑑賞している姿が印象的だった。

ポップアップショップ エシカル商品のポップアップショップ

海洋プラごみや間伐材、ロスフラワー(廃棄予定花)などを原材料として製品化された商品や、環境に負荷のかからないように配慮された雑貨などをポップアップショップとして展開。デザイン性や機能性が高い商品をセレクトしたポップアップショップで環境への関心を高めるきっかけとなった。



GOOD DAILY HUNT(グッドデイリーハント)

海洋プラごみ100%で作るbuoyの販売やキーホルダー作りワークショップ、環境保護のために売上4%を使う水筒ブランドMiiRの販売ほか。山の環境を守ることを目的としたマーケットイベントも展開中。

- ☑販売品目
- 海洋プラごみキーホルダー
- 海洋プラごみオブジェ
- MIIR水筒 など



MATERIAL MARKET(マテリアルマーケット)

工場などから出た廃材や端材を「素材」として販売している「廃材のセレクトショップ」をデザイナーや建築家などものづくりに関わるメンバーで2015年からスタート。廃材のコーディネートなども行っている。

- ☑販売品目
- 丸太のプロダクト
- 糸巻きコーン
- 木の端材アソート など



ippo upcycle(イッポアップサイクル)

廃棄予定のお花(ロスフラワー)や、廃材、端材などを使い、キャンドルや雑貨などを制作。久留米絨製造工程で生まれる「くくり糸」の販売のほか、ロスフラワーを使用したオリジナル作品などを制作・販売。

- ☑販売品目
- ボタニカルアロマキャンドル
- アロマワックスサシェ
- 久留米絨のくくり糸 など

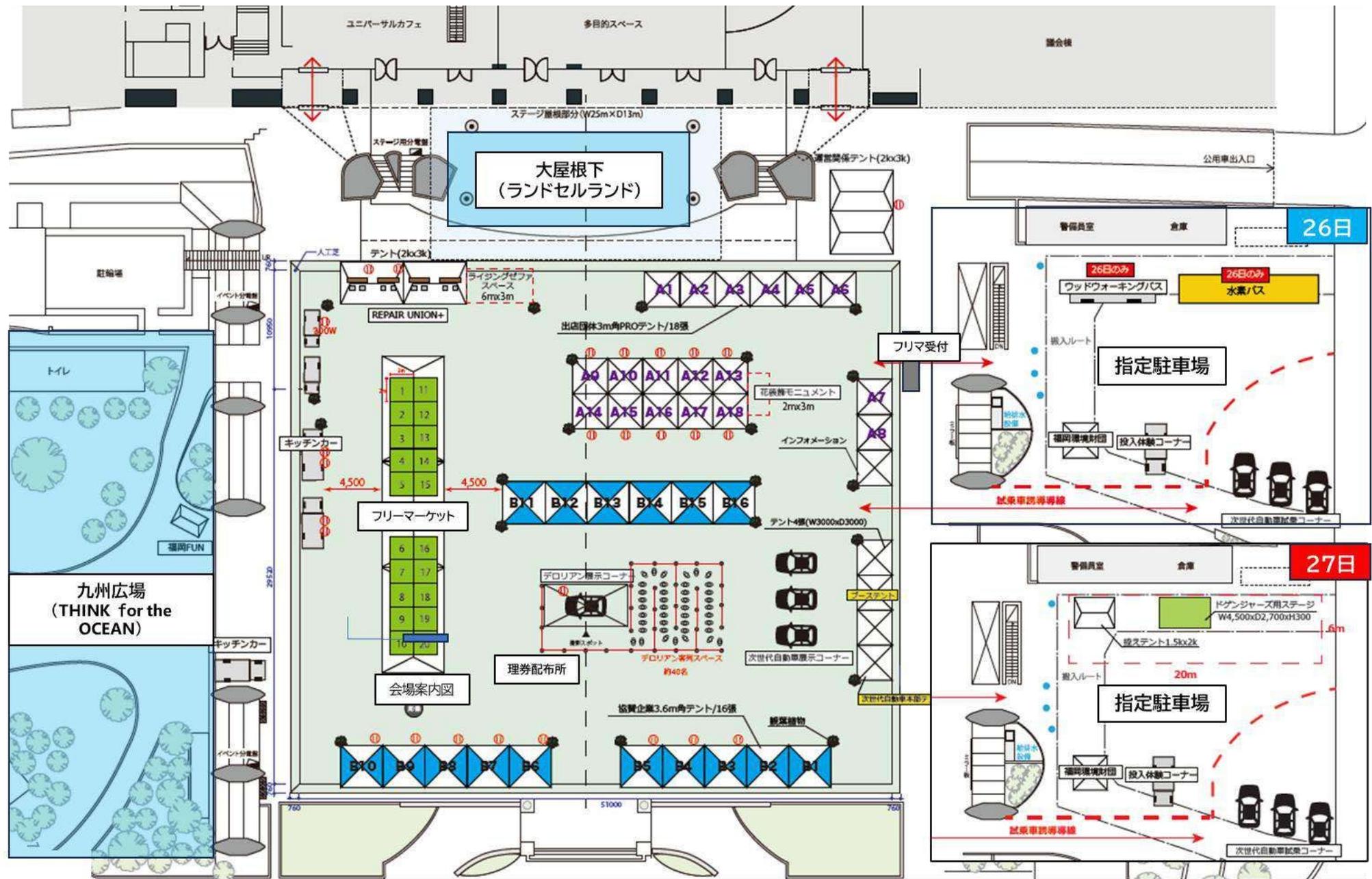


通常の週末に比べ、かなり人通りの少ない印象のソラリアゼファだったが、ポップアップショップの大きなテントに目を止め、立ち寄ってくださる方が多数来場した。出店者から商品の由来や説明を聞いた上で、複数商品を購入されている方もいらっしやった。ロスフラワーで作られた商品には、若い女性客が多く来店している様子だった。



環境フェスティバル ふくおか2024

啓発イベント②ふれあい広場/会場図



デロリアン展示・乗車撮影会

会場入ってすぐ正面に展示された未来の車「デロリアン」は、今回のイベントの目玉として話題を集めた。初日の朝にはデロリアンを目当てに来場した方がオープン心を待ちにしている様子も見受けられた。乗車して撮影できたため、展示車両前には常に撮影待ちの列が途切れることなく続いていた。参加した来場者は大人から子どもまで楽しそうに撮影を行っていた。

- 実施場所:福岡市役所西側ふれあい広場
- 実施内容:展示・撮影会
- 撮影参加人数:10月26日(土)449名/10月27日(日)494名



ゴミが燃料となり 実際に走行した デロリアン

2015年10月21日
株式会社JEPLANは
リサイクル技術で、
不要になった瓶から燃料を作り
デロリアンを走らせました。

当時のリサイクル技術を用いて、全国から集まった千数万台のPETボトルとPETリサイクル工場からPET樹脂を生産することで、デロリアンは走り出した。劇中でデロリアンがタイムトラベルしたのは2015年10月21日です。この日、映画が完成になりました。

ボトルtoボトル リサイクル

現在、JEPLANはPETボトルを再びPETボトルにリサイクルすることで資源循環を実現する「ボトルtoボトルリサイクル事業」に取り組みしています。独自のケミカルリサイクル技術を用いて、高品質なPETボトルリサイクルを実現しています。

株式会社JEPLAN (ジェプラン)
「高品質なものを循環させる」という
ミッションの実現に向けて、
福岡市と協賛するリサイクル技術を用いた
ものづくりを推進しています。

デロリアンバナー

ふれあい蚤の市(フリーマーケット)

市民の皆様のリユース活動を積極的に体験する機会を持っていただくため、今回初の「市民参加型ふれあい蚤の市」を開催。終日多くの来場者が訪れ、各出店者と会話しながら買い物を楽しんでいた様子が印象的だった。小学生くらいのお子さんが店番をしている姿も見られた。不要品からリメイクされた商品などもあり、買い物客から「捨てる予定のものが、少し手を加えるだけで新しい商品へと生まれ変わることを改めて実感した。自分で実践出来そうなものもあり、リサイクルのヒントをたくさんもらった。」という声もあった。

- 募集方法: 事前にWEBにて参加者を募集。応募多数の場合は抽選
- 募集区画: 全20区画
- 応募者数: **241名**
- 出店者数: 30名

- 出店要件
- ①出店料無料(1区画2m×2m)
- ②個人・団体などどなたでも参加OK
- ③自宅での不用品のほか端切れや廃材などを使用した手作り品なども出店可能
- ④区画のみ提供



なおして使うマルシェ/REPAIR UNION+(リペアユニオンプラス)

刃物研ぎや金継ぎ、洋服のリフォームなど、さまざまなジャンルのお直し職人集団が企画する「なおしてつかうマルシェ」。循環型社会の実現をテーマに、高いお直し技術を持った職人たちが様々な「お直しの相談」に乗った。大量生産・大量消費が進む中、壊れたら捨てるのではなく「なおして大切に長く使い続ける」ことを実感してもらうことで、モノに対する愛着を感じながら、持続可能な社会への貢献を再認識してもらう機会となった。

- 実施日程:10月26日(土)~10月27日(日)両日実施
- 実施場所:福岡市役所西側ふれあい広場
- 実施運営:REPAIRUNION+(リペアユニオンプラス)
- 実施内容:各ジャンルのお直し会体験や相談会など

■各出展団体:

- ・Sally/服のリフォーム・お直しなど(車両出店)
- ・刃物研ぎ福竜/刃物研ぎ(車両出店)
- ・シロクマさん/ジュエリーリフォーム相談会
- ・あしのふくだ/靴の修理・足の測定会
- ・金継ぎちとる/金継ぎ相談会
- ・up.cycle.and.craft/瓶の加工ワークショップ
- ・oil mount printers/シルクスクリーン印刷のワークショップ



刃物研ぎは大変盛況で、二日間で約50組の方が刃物を持参し、研ぎ直しを行った。ジュエリーリフォームや金継ぎにも終日相談者が訪れる様子が見受けられた。金継ぎという修復方法を知らない方もいて、欠けた陶器でも修繕して使うことが出来るという事に大変驚いた様子だった。

次世代自動車展示・試乗会(※試乗会のみ指定車駐車場にて実施)

環境負荷が少ない電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド自動車(PHEV)・燃料電池自動車(FCV)などの次世代自動車について、展示ならびに試乗会を開催することで、環境面や経済面などを含めた長所や利便性をより多くの市民・事業者に知っていただく機会となった。また展示車両から給電しながら音楽パフォーマンスを実施し、災害時の非常用電源としても、電気自動車等が活用できることの周知を図った。

- 開催日程:令和6年10月26日(土)～10月27日(日)
- 開催時間:10:00～16:00
- 開催場所:展示:福岡市役所西側ふれあい広場 / 試乗:指定車駐車場
- 協力出展社:KMGホールディングス株式会社/日産福岡販売株式会社/福岡トヨタ自動車株式会社
- 給電パフォーマンス:エコロジックシアターによる給電パフォーマンスを実施
26日(土)①11:00～②13:00～③14:30～/27日(日)①11:00～②13:00～③14:30～



今年度は展示車両をふれあい広場に展示したことから、多くの来場者の目に留まり、家族連れなどが興味深そうに車両を見学していた。給電パフォーマンス中には、車両1台から給電される電力量などの説明を聞いて驚く様子も見られた。

各企業・団体出展/計39団体・企業(五十音順)

イオン九州株式会社/一般社団法人JBRC/海の中道青少年海の家/エコFIT/NPO法人いとなみ/NPO法人博多ミツバチプロジェクト/NPO法人エコネットふくおか/NPO法人循環生活研究所/NPO法人SoELa/NPO法人ふくおか環境カウンセラー協会/NPO法人ふくおか湿地保全研究会/エフコープ生活協同組合/花王グループカスタマーマーケティング株式会社/株式会社NTTドコモ九州支社/株式会社NTTファシリティーズ・NTTアノードエナジー株式会社/株式会社オーレックホールディングス/株式会社JEPLAN/株式会社セブン-イレブン・ジャパン/株式会社福岡銀行/川上産業株式会社/環境局循環型社会推進部/環境たくみの会/九電グループ/公益財団法人自動車リサイクル促進センター/公益社団法人福岡県産業資源循環協会福岡支部/西南学院大学 小出ゼミ First/西部3R ステーション/低炭素社会推進福岡協議会(LCFC)/特定非営利活動法人 フードバンク福岡/中村学園大学短期大学部 食物栄養学科/七区さわやかスタッフ/福岡工業大学附属城東高等学校科学部/福岡県環境部環境保全課・一般社団法人福岡県冷凍空調工業会/福岡市環境局環境調整課/福岡市環境局廃棄物試験研究センター/福岡市地球温暖化対策市民協議会/福岡市保健環境学習室まもる一む福岡/福岡市立背振少年自然の家/福岡バイオフードリサイクル株式会社



FCパッカー車ごみ投入体験

全国初導入となる水素燃料電池(FC)を搭載したごみ収集車を会場内に展示。現在福岡市内の一部で導入が実施されているFCパッカー車でごみ投入体験を行った。ごみを投げ入れた後、どのように収納されるかを間近で見ている子どもたちは、歓声を上げて喜んでた。列に並んで待っている間も興味深々の様子だった。パッカー車の内部まで見学でき、普段なかなか見る機会のないパッカー車の構造に、大人たちも関心を寄せる様子が印象的だった。

- 実施日程:10月26日(土)~10月27日(日)
- 実施場所:指定車駐車場
- 実施運営:公益財団法人ふくおか環境財団
- 体験人数:
10月26日(土)237名
10月27日(日)253名



10月26日(土)のみ 水素バス「Moving e(ムービングイー)」見学会&撮影会



水素で走り、発電もできる燃料電池バスMoving e(ムービングイー)の車内見学会や記念撮影会などを実施した。車内に搭載されている蓄電池が災害時にも活躍することなどについて説明を受けた参加者は、興味深く話を聞いていた。Moving e(ムービングイー)は、体験ツアーのツアーバスとしても使用され、参加者はスムーズに走る水素バスに感激している様子だった。

【水素バス使用体験ツアー】

福岡バイオフィードリサイクル工場見学ツアー/ためとつと&植物園見学ツアー/FUNクリーンアップデー体験ツアー

10月26日(土)のみ WOOD WORKING BUS(ウッドワーキングバス)木工工作体験

家具製作工房のREPLACEFURNITURE(リプレースファニチャー)主催の移動型木工体験バスにて、参加費無料の木工体験ワークショップを開催した。ワークショップで使用する材料は家具製作後に出た本来捨てるはずの木材を利用。バスの車内で端材パズルや写真立て作りなどの工作ができるとあって、終日車内はワークショップを楽しむ親子連れでにぎわっていた。

■出展企業:株式会社坂元製作所

■出展内容:端材や廃材を使用した木工ワークショップ

「WOOD WORKING BUS」は2023年『福岡デザインアワード』で銀賞を受賞。不要となったマイクロバスを自らリノベーションし日本初の「移動できる木工体験バス」を制作して、その車内でオーダー家具製作後に出る廃材を活用した木工ワークショップを開催しモノづくりの楽しさや大切さを学ぶ場として高い評価を得た。

■体験人数:52名



10月27日(日)のみ ドゲンジャーズステージイベント

指定車駐り場特設ステージにてドゲンジャーズスペシャルステージイベントを開催。食品ロス削減のクイズ大会や撮影会などを実施した。現在、スペシャルコラボ「おいしい福岡エコ運動 × ドゲンジャーズ」として活動しているドゲンジャーズのステージに多くの親子連れが集まっていた。

- 出演時間:11:00~11:30/14:00~14:30
- 実施場所:指定車駐り場
- 実施内容:
 ステージで食品ロス削減の啓発クイズ大会(約10分)
 ステージ上での撮影会ならびに会場内グリーティング(約20分)



開始前から多くの観客が集まり、ドゲンジャーズの登場を待ちわびる姿が見られた。食品ロス削減についてのクイズに大きな声で答える子どもたちや、撮影会に参加する家族連れで、ステージは盛り上がっている様子だった。会場内グリーティングの際にもその周りには人だかりができており、福岡発のヒーロー「ドゲンジャーズ」の人気ぶりが伺えた。

ライジングゼファーフクオカ

ゴールをごみ箱に見立て、お題のごみを正しく分別(シュート)するイベントを実施。公式キャラクターの神(じん)くんも一緒に会場を盛り上げていた。参加した方からは「子どもにゲーム感覚でごみの分別方法を教えられてよかった」と好感触だった。



ちんどん鈴乃家

昭和歌謡からアニメソングまで幅広い演奏を行いながら会場内を練り歩き、イベントを盛り上げていた。時にはゲート前でチラシを配りながらお客様を誘導し、音楽に釣られて会場内へと足を踏み入れる方の姿も見られた。(グリーティング回数 3回/日)



一人一花運動「花の祭典フォトスポット」

花の祭典～Fukuoka Flower Show Pre-Event～との連携として、市役所西側ふれあい広場に、ロスフラワーや間伐材を活用した花のフォトスポットが作られ、来場者を楽しませていた。アンケートノベルティとして配られた花苗も大変好評だった。



キッチンカー

カラフルなキッチンカーは会場の雰囲気を一気に盛り上げてくれていた。乾燥野菜の「HOSHIKO(ほしこ)」を使用したカレーは大変好評だった。スイーツ系のタピオカドリンクやフレンチトーストも売れ行きは好調だった。



アンケート回答方法とノベルティについて

アンケートはデジタルと紙の2種類を準備した。アンケートノベルティは、一人一花運動の一環で開催される「花の祭典～Fukuoka Flower Show Pre-Event～」との連携として花苗と、株式会社ファンケルの独自資源回収プログラム「FANCL リサイクルプログラム」にて回収されたプラスチックを使用して作られた花鉢をセットでお渡した。

■回答方法:①紙で回答 ②デジタルで回答

■実施場所:ソラリアゼファ/福岡市役所西側ふれあい広場

■景品受渡:福岡市役所西側ふれあい広場インフォメーション

■ノベルティ:花苗とポットのセット(400個)

■回答数

26日(土)デジタル157名/紙(大人)68名/紙(子ども)10名 計235名

27日(日)デジタル146名/紙(大人)111名/紙(子ども)14名 計271名

二日間合計 **大人482名 子ども24名 計506名**

準備していたノベルティが足りなくなったため、二日目からはフラワーフォトスポットより花苗のみを取り出し、ノベルティとしてお渡した。



ファンケルリサイクルプログラム



今回配布したリサイクルプラを使用した鉢植え

来場者・参加者アンケート

1. 年齢
～10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代以上
2. お住まい
東区、博多区、中央区、南区、城南区、早良区、西区、市外、県外
3. これまで「環境フェスティバルふくおか」に来場(参加)されたことはありますか。
初めて、2・3回、4～6回、7回以上
4. 「環境フェスティバルふくおか 2024」に来場(参加)されたきっかけは何ですか(いくつかでも)
市政だより、ホームページ、SNS、ポスター・チラシ、その他(記入)
5. 「環境フェスティバルふくおか 2024」の総合的な満足度はいかがでしたか。
満足、どちらかといえば満足、どちらかといえば不満、不満
6. 「5」の質問で回答された理由を教えてください。(記入)
7. あなたの身の回りの環境についてどのように感じていますか。
良くなっている、やや良くなっている、やや悪化している、悪化している
8. 現在、どのような環境問題に関心をもちますか。(いくつかでも)
地球温暖化、大気汚染、不法投棄など廃棄物の不適正な処理、リサイクル可能な資源の廃棄、海洋汚染、人々の生活の身近にある自然の減少、野生動物や希少な動植物の減少や絶滅、その他(記入)、特になし
9. 環境問題等に関する情報はどのように入手していますか。(いくつかでも)
テレビ・ラジオから、新聞・雑誌から、行政の広報誌やパンフレットから、企業や市民団体などの広報誌やパンフレットから、家族や友人・知人から、SNS(具体的に)から、行政や企業等が実施するイベント等への参加を通じて、その他(記入)
10. 「環境フェスティバルふくおか 2024」に来場(参加)して、以前よりも環境問題等への関心が高まりましたか。
高まった、やや高まった、どちらかと言うと高まらなかった、何も変わらなかった
11. 「10」の質問で回答された理由を教えてください。(記入)
12. 「環境フェスティバルふくおか 2024」に参加して、以前よりも節電など「環境にやさしい行動」に取り組みたいと思いましたか。
そう思った、やや思った、どちらかと言うと思わなかった、思わなかった
13. 「12」の質問で回答された理由を教えてください。(記入)
14. 地域での環境学習や環境保全活動をより充実させるために、福岡市(行政)に取り組んでほしいことがあれば自由にご記入ください。(記入)
15. 2050年の福岡市の環境はどのようになってほしいですか。あなたの理想の「福岡市の将来のまちの姿」について自由にご記入ください。(記入)

紙のアンケート用紙



アンケート回答用の2次元バーコードを会場内4か所に設置し回答しやすい環境を整えた

ソラリアゼファで回答いただいた方もノベルティの交換はふれあい広場のみに限定したことで、ふれあい広場の会場へ足を運んでくださる参加者も多く見受けられた。ノベルティでお渡した花苗が大変好評で、目標回答数を大きく上回る結果となった要因の一つと考えられる。初日で予定数を越えたため、二日目は一人一花のフラワーフォトスポットから同サイズの花苗(鉢植え無し)をお渡したが、こちらも大変喜ばれた。大人だけでなく子どもにも好評だった。

デジタルスタンプラリー

ごみ拾いポイ活アプリ「YUIMAAL(ゆいまーる)」を使ったデジタルスタンプラリーを開催。参加者はスタンプラリー受付にてアプリをダウンロードし参加した。基本的にはアプリを使用して参加いただいたがスマホ等をお持ちでない方のために用紙も別途準備した。ご年配の方や、アプリのダウンロードが難しい方も多く、紙での参加も多かった。

- 参加方法:①紙で参加 ②アプリで参加
- 対象ブースで体験するとスタンプ1個付与。6個のスタンプを集めると景品と交換
- 実施場所:福岡市役所西側ふれあい広場
- 景品受渡:福岡市役所西側ふれあい広場スタンプラリー受付
- ノベルティ:海洋プラスチックボールペンorステッカーorピンバッチ
- スタンプ配布場所(スタンプラリー対象ブース)
 - ・九州広場 「エコクラフト:貝殻オブジェ」ブース
 - ・指定駐車場 FCパッカー車ブース
 - ・ふれあい広場 環境局循環型社会推進部ブース
 - ・ふれあい広場 福岡工業大学附属城東高等学校科学部ブース
 - ・ふれあい広場 九電グループブース
 - ・ふれあい広場 川上産業株式会社ブース
- 参加者数:
 - 26日(土)紙31名/デジタル29名 計60名
 - 27日(日)紙51名/デジタル51名 計102名
 - 二日間合計 **162名**



スタンプラリーカード(紙)



裏面には対象ブースのマップを掲載

「今すぐ使ってみる」から
ユーザー登録不要で参加できます!

海洋プラを使ったボールペン
もしくは
くらげねんごうステッカープレゼント!

スタンプ取得方法

YUIMAALアプリをダウンロード
↓
スタンプラリー対象ブースで体験
↓
スタンプGET!

YUIMAALアプリを開き
こちらのアイコンをタップして
バーコードを読み込んでください

デジタルスタンプラリー

体験ブース

体験しちま
スタンプ
GET!

対象ブース前にもサインを掲示



ゆいまーるオリジナルのボールペンとステッカーは子どもに大人気だった



THINK for the OCEAN

- 主催：一般社団法人ふくおかFUN×一般社団法人イドベタ
- 場所：福岡市役所西側九州広場
- 内容：福岡の海の魅力と課題を楽しく学び、味わい、海の為に一步踏み出キッカケを作るため開催。海の幸を堪能できるフードコーナーや、海の環境問題に関するクイズラリー、貝殻を使ったオブジェ作りワークショップの実施、海洋プラで作ったクリスマスツリーの展示のほか、ステージではリメイクファッションショー、環境啓発活動に携わる方々によるトークショーなどを実施した。

参加者数：約3,000名



ランドセル+αプロジェクト ランドセルランド

- 主催：九州産業造形短期大学部×NPO法人次世代のチカラFUKUOKA
- 場所：福岡市役所西側ふれあい広場・大屋根下
- 内容：寄付された使用済みランドセルをきれいにし、新たに必要の方へ無償で提供する取り組み。ランドセルの寄付と受け取りを気軽に楽しくすることを目的に、昨年より九州産業造形短期大学部とNPO法人 次世代のチカラFUKUOKAが共同でイベントを開催している。今回は環境フェスティバルふくおか2024と共同開催という形で実施を行った。

参加者数：500名



地球環境×カードゲームMy Earthカードゲーム大会

- 主催：NPO法人SoELa
- 場所：福岡市役所庁舎内 15階講堂 ※27日のみ実施
- 内容：地球環境カードゲームマイアースとは生物多様性と地球温暖化チームによる対戦型カードゲーム。人の活動が勝敗を分けるカードとして登場し環境と人のつながりが学べるということで現在全国で小学生、中学生向けに環境ワークショップを多数開催中。今回は事前募集を行い、公式大会を実施した。

参加者数：24名



体験ツアーイベント実施概要

開始より好評の体験型ツアーイベントを今年度も実施。今回は6団体・企業にご協力いただき、工場の見学会や環境体験学習ツアーなどを実施。各ツアーとも募集人数を大幅に上回る申し込みがあり、体験型ツアーの人気ぶりが伺えた。

- 日程 9月16日(月祝)～10月12日(日)の期間中
- 応募 事前申し込み制(専用HP又ははがき・ファックス)
- 参加費 無料
- 参加資格 福岡市内在住
- 専用HP <https://kankyo-fukuoka2024.com/test/>
- ツアー数 6個
- 申し込み数 1,101名
- 参加者数 100名



環境フェスティバル ふうおか2024
 開催日時: 10.26(土)・27(日) 10:00-16:00
 【会場】 福岡市役所西側ふれあい広場 ソラリアセファ

環境フェスティバルふうおか2024では、環境について楽しく学べる「ツアー」を行います。参加をご希望の方は、下記の内容をお読みいただきお申し込みください。「+」をクリックすると詳細をご覧いただけます。

申込締切：9/8(日) 必須
 ※お申し込み多数の場合は抽選になります
 ※9/10(火)までに当選者のお通知いたします

参加費：無料

ツアー一覧

※中学生までは保護者同伴となります ※内容・スケジュールは変更となる可能性があります

[01] 9/16(月祝) トヨタ自動車九州宮田工場見学ツアー

バスツアー **お申し込み**

金田初め取り組む！太陽光発電で製造した水素を工場の燃料電池フォークリフトで利用する取組を始めた宮田工場での仕組みを見学できるツアーです。工場見学の際は特別企画水素で運転できる「水素グリラー」で焼きマッシュアップ体験もできます。

■乗車人員：小学生・中学生とごとの保護者・10組20名
 ※福岡市内在住
 ■発着時間：13時00分～15時00分
 ■乗車場所：トヨタ自動車九州宮田工場 高崎市上野1-1

※特別企画：水素はと水分回収ができる水素グリラー
 販 売：長崎の動きやまき好房
 販 力：トヨタ自動車九州株式会社

■当日スケジュール
 11:50 福岡市役所集合
 12:00 福岡市役所集合 (乗車バスで移動)
 13:00 トヨタ自動車九州宮田工場 到着
 ※特別企画で焼きマッシュアップについて学びます
 ・水素グリラーの仕組み
 ・水素で走る「TRAIL」の仕組み
 ・特別企画「水素グリラー」で焼きマッシュアップ体験
 15:00 トヨタ自動車九州宮田工場・高角(乗車バスで移動)
 16:00 福岡市役所集合 解散

■注意事項
 当日のスケジュールや内容は変更となる場合がございます。

[02] 9/21(土) 福岡バイオフードリサイクル工場見学ツアー

スポンサー

50社

【01】トヨタ自動車九州宮田工場見学ツアー

全国初の取り組みとなった、太陽光発電で製造した水素を工場の燃料電池フォークリフトで利活用する取組を始めた宮田工場で、その仕組みを見学。工場見学の後には特別企画として水素で調理できる「水素グリラー」での焼きマシュマロ体験や水素で走る「MIRAI」の試乗会も開催した。

- 募集人員: 小学5～中学3年生とその保護者・10組20名
- 実施時間: 13時00分～15時00分
- 実施場所: トヨタ自動車九州宮田工場
- 協力企業: トヨタ自動車九州株式会社
- 参加者数: 10組20名



カーボンニュートラル実現のため、トヨタ自動車九州で行っている工場内での水素を利活用する取り組みを、実際に水素製造設備や水素で動くフォークリフトを見ながら学ぶことができた。その後、水素グリルを使った焼きマシュマロ体験を行ったが、普通の焼きマシュマロよりも潤いがある、と驚きの声が上がっていた。水素自動車MIRAIから、排気ガスではなく水が出ている様子を興味津々でのぞき込む姿も見られ、参加者にとって水素エネルギーへの関心がさらに高まるツアーとなった。

【02】福岡バイオフィードリサイクル工場見学ツアー

食品廃棄物を微生物の働き(メタン発酵)によってバイオガスにリサイクルし、発電の燃料として活用を行っている福岡バイオフィードリサイクル工場の見学会を実施。生ごみから電気が出るまでの仕組みを学んだあと、実際に生ごみが集められる場所やコントロール室など施設内を見学した。

- 募集人員: 小学4年生以上・10組20名
- 実施時間: 13時00分～15時00分
- 実施場所: 福岡バイオフィードリサイクル工場
- 協力企業: 福岡バイオフィードリサイクル株式会社
- 参加者数: 9組18名



工場内を回りながら、食品廃棄物を発酵させて作ったメタンガスから電気を作るまでの過程を見学した。工場では設備ごとにどんな役割を行っているのか、身体の器官に見立てながらわかりやすく説明してもらい、子どもたちは適宜質問をしたり、こまめにメモを取ったりするなど、新たな気付きや学びが多くあった様子だった。廃棄される食品の多さを目の当たりにして、参加者からは、「これからは食べられるものは残さずしっかり食べようと思った」という食品ロス削減につながる意見もあった。

【03】ためとつと & 植物園見学ツアー

植物園内に新たに設置された雨水貯水地下タンク「ためとつと」と植物園の温室の見学ツアーを実施。「ためとつと」とは短時間の簡単な工事で大量の雨水を飲料水並みの水質で貯水することが出来るシステムで、その仕組みについて学んだあと、園内の植物を見学するツアーを実施した。

- 募集人員：小学4年生以上・10組20名
- 実施時間：10時00分～12時00分
- 実施場所：福岡市植物園
- 協力企業：株式会社大建／福岡市植物園
- 参加者数：9組18名



福岡市植物園に設置してある雨水貯水地下タンク「ためとつと」について模型を見ながら、その仕組みを学んだ。「ためとつと」のシンプルな構造に驚く参加者も多く、「学校や近くの公園にも設置してほしい」という意見もあった。温室では、実際に食虫植物が虫を食べる様子を観察することができ、講師の熱心な説明に、子どもたちだけでなく大人の方も聞き入る姿が見られた。参加者からは、「知らない植物がたくさんあり、新たな知識を得ることができた」という意見が多数あった。

【04】「FUNクリーンアップデー」体験ツアー

福岡の海を愛するダイバーと市民で、福岡の海中と海岸ビーチクリーン活動を実施した。ビーチクリーンの後には、きれいになった海により豊かさが戻るよう、海を元気にする海草で「アマモ」の藻場づくりを実施。アマモの種子を寒天粘土に貼り付けたアマモ種子団子を海へと投げ入れた。

- 募集人員：どなたでも・20名
- 実施時間：10時00分～12時30分
- 実施場所：福浜海岸
- 協力企業：一般社団法人ふくおかFUN
- 参加者数：7組14名



フェスティバル参加者のほかにも、未就学児・学生・企業の方など、幅広い層の方と一緒に海岸清掃を行った。さらに、ダイバーの方も集まり、海の中にあるごみまで回収した。一見ごみが落ちていないように見えた海岸も、よく見てみると拾いきれないほどの細かいごみが落ちており、参加者も海の現状に驚きの様子だった。拾ったごみが、身近にあるものばかりであったことから、参加者からは、「今後はまず自分の身の回りから綺麗にすることを心がけたい」という声が多くあった。

【05】再生可能エネルギーツアー

再生可能エネルギーの主要な5電源(太陽光、風力、バイオマス、地熱、水力)の発電所を約8万個のレゴブロックで表現したジオラマクイズやペットボトルを再利用した風力発電機の工作のほか、VRと超大型模型による潮流発電の世界を体験やエアロバイクによる発電体験などを実施した。

- 募集人員: 小学4～6年生とその保護者・10組20名
- 実施時間: 10時00分～12時00分
- 実施場所: KMGビル
- 協力企業: 九電みらいエナジー株式会社/九州三菱自動車販売株式会社
- 参加者数: 8組16名



エアロバイクを使った発電体験では、ドライバーを動かすため必死になってバイクをこいでもなかなか動かなかったり、ペットボトルを使った風力発電の工作では、羽がうまく回らず苦戦したりと、体験を通して、電気を生み出すことの大変さを感じることができた。また、停電シミュレーションでは、電気自動車が電気の供給源にもなることを学び、災害時に重要な役割を担うことを知ることができた。参加者からは「電気のありがみを感じることができた。」という意見もあった。

【06】日本ミツバチの「博多ハニー」採蜜体験ツアー

街中にある日本ミツバチの養蜂場にて、ミツバチの生態と蜜源植物の解説を聞きながら巣箱の見学会を実施。その後、実際の巣箱からハチミツを採取し、採れたてハチミツの試食会も開催された。ミツバチの生態や生態系での役割など環境保全の大切さについて学んだ。

- 募集人員: 小学1年～中学3年生とその保護者・8組16名
- 実施時間: 11時00分～12時00分
- 実施場所: NPO法人博多ミツバチプロジェクト養蜂場
- 協力企業: NPO法人博多ミツバチプロジェクト
- 参加者数: 7組14名



なかなか近くで見ることのない日本ミツバチやその巣箱に、参加者は興味津々の様子だった。ミツバチの住む場所によってハチミツの味が変わることや、巣箱の中はミツバチの羽が動くことで意外と涼しいことなどを聞いた参加者からは驚きの声が多く上がり、もっと詳しく教えてもらおうと、ツアー内では常に質問が飛び交っていた。ミツバチが植物の成長などに重要な役割を果たしていることを知った参加者からは「日本ミツバチを守るために自分たちにできることを考えようと思った。」という意見があった。

■対象者 啓発イベントに参加した方

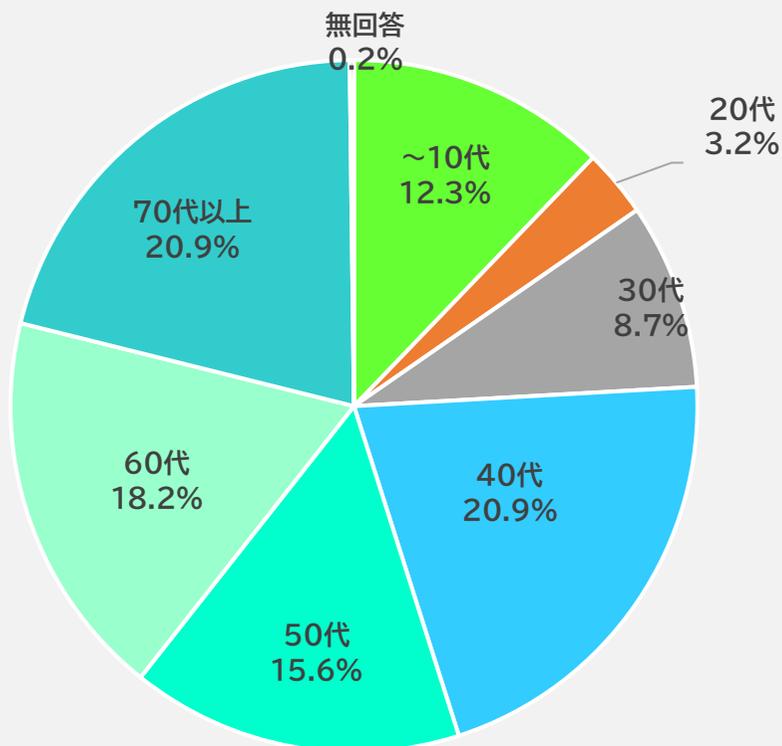
■回答方法 デジタル・紙での回答

■回答人数 計506名（子ども62名・大人444名）

■回答内訳 子ども/10代以下 大人/20代以上

1.年齢

～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
12.3%	3.2%	8.7%	20.9%	15.6%	18.2%	20.9%	0.2%



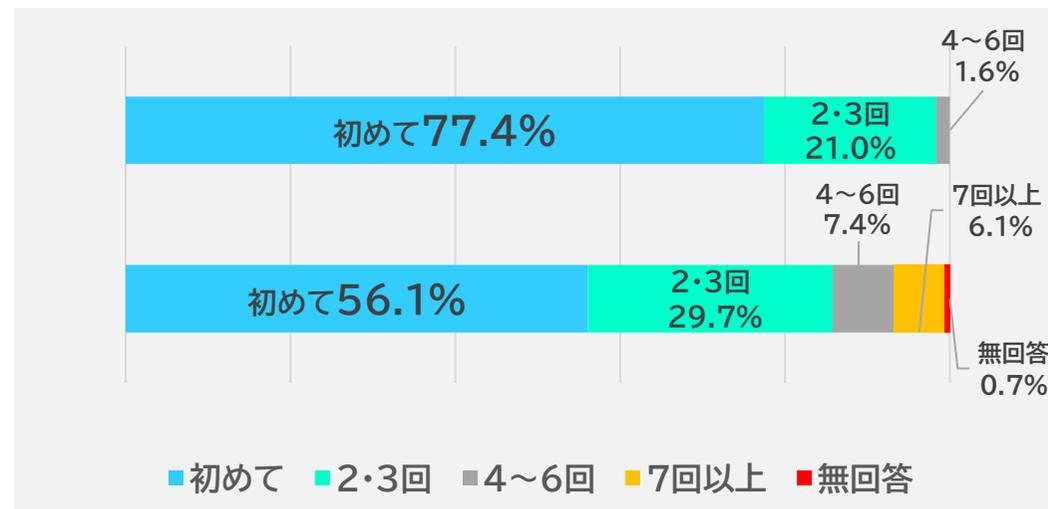
20代の来場が少なく、子育て世代の40代から上の世代になるにつれ割合が増えている

2.お住まい

東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	市外	県外	無回答
14.8%	13.2%	21.9%	12.1%	8.5%	7.7%	4.7%	15.2%	1.4%	0.5%

3.これまで「環境フェスティバルふくおか」に来場(参加)されたことはありますか？

年代別	初めて	2・3回	4～6回	7回以上	無回答
子ども	77.4%	21.0%	1.6%	0.0%	0.0%
大人	56.1%	29.7%	7.4%	6.1%	0.7%



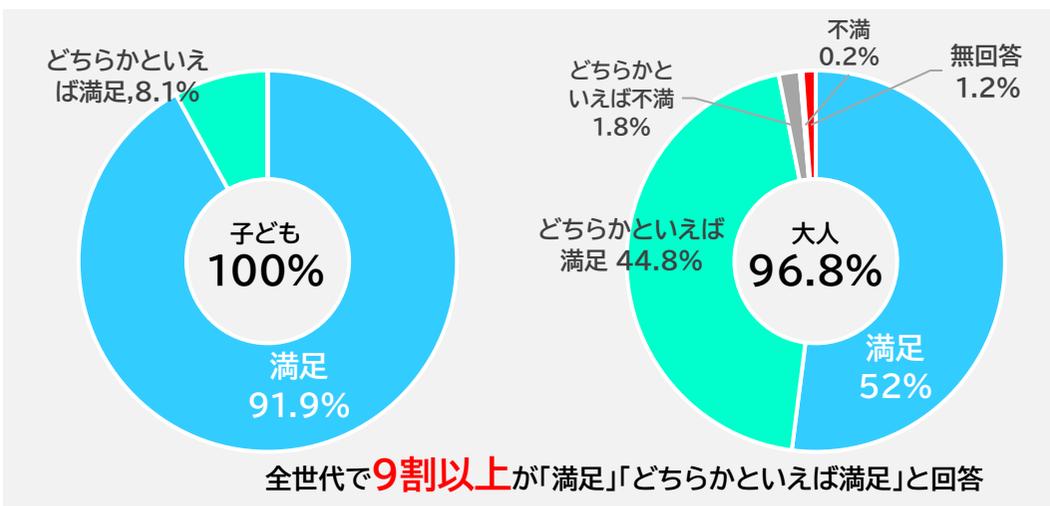
4.「環境フェスティバルふくおか2024」に来場(参加)されたきっかけは何ですか(いくつでも)

年代別	市政だより	ホームページ	SNS	ポスター・チラシ	その他	無回答
子ども	16.1%	8.1%	17.7%	21.0%	45.2%	0.0%
大人	44.6%	12.6%	8.3%	14.9%	22.1%	0.5%

4-1. 「4」の質問で「その他」を選択された方をご記入ください。

- ・たまたま通りがかったから
- ・友人・知人が出展しているから
- ・花の装飾を見に来た
- ・テレビを見て
- ・ランドセルランドのチラシを見て

5.「環境フェスティバルふくおか2024」の総合的な満足度はいかがでしたか

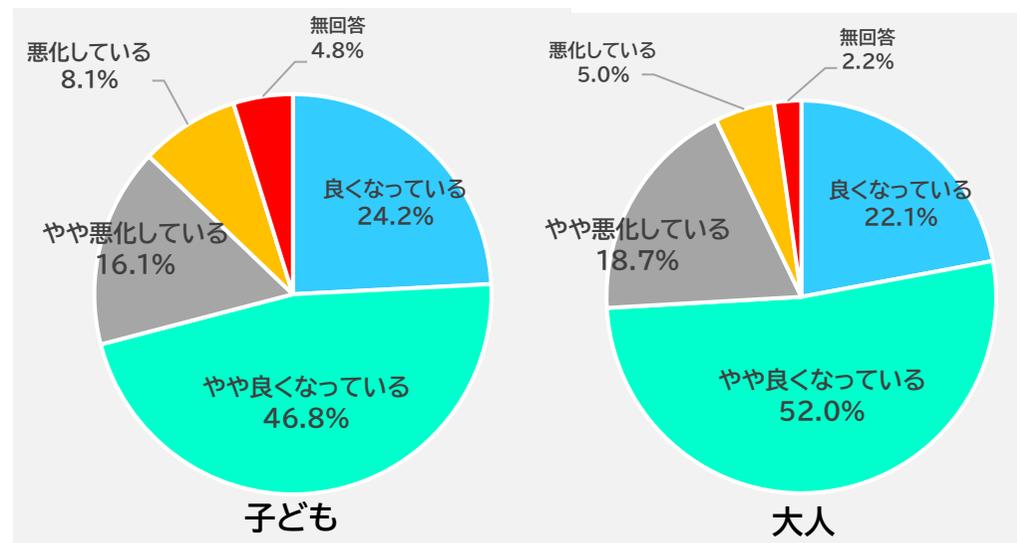


6.「5」の質問で回答された理由を教えてください。(記入)

- ・セブン-イレブンの制服が着れて嬉しかった
- ・リユースの良さを知ったから
- ・企業の取り組みをたくさん知れたから
- ・内容が豊富で楽しく学べた
- ・間違った知識を正すことができたから
- ・デロリアンを見ることができたから
- ・体験系が多く子どもも満足していた
- ・ブースの数と種類が多くて良かった
- ・キッチンカーを増やしてほしい
- ・終了時間が早すぎた

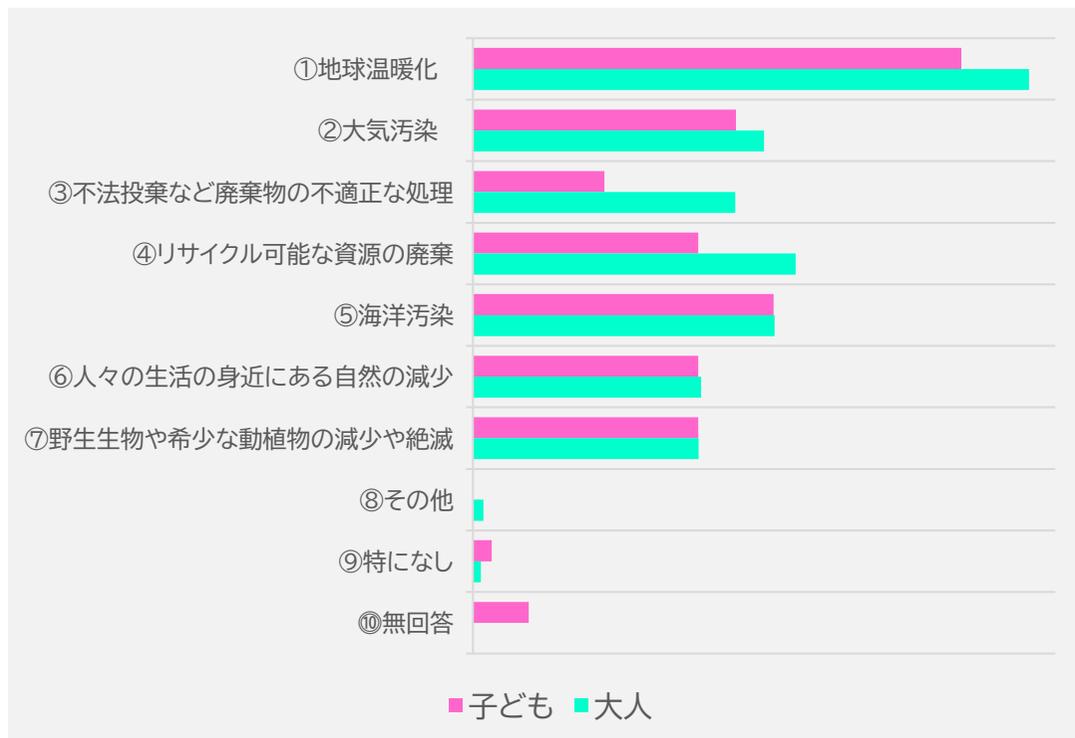
7.あなたの身の回りの環境についてどのように感じていますか

年代別	良くなっている	やや良くなっている	やや悪化している	悪化している	無回答
子ども	24.2%	46.8%	16.1%	8.1%	4.8%
大人	22.1%	52.0%	18.7%	5.0%	2.2%



8.現在、どのような環境問題に関心をお持ちですか。(いくつでも)

年代別	①地球温暖化	②大気汚染	③不法投棄など廃棄物の不適正な処理	④リサイクル可能な資源の廃棄	⑤海洋汚染	⑥人々の生活の身近にある自然の減少	⑦野生生物や希少な動植物の減少や絶滅	⑧その他	⑨特になし	⑩無回答
子ども	41.9%	22.6%	11.3%	19.4%	25.8%	19.4%	19.4%	0.0%	1.6%	4.8%
大人	47.7%	25.0%	22.5%	27.7%	25.9%	19.6%	19.4%	0.9%	0.7%	0%

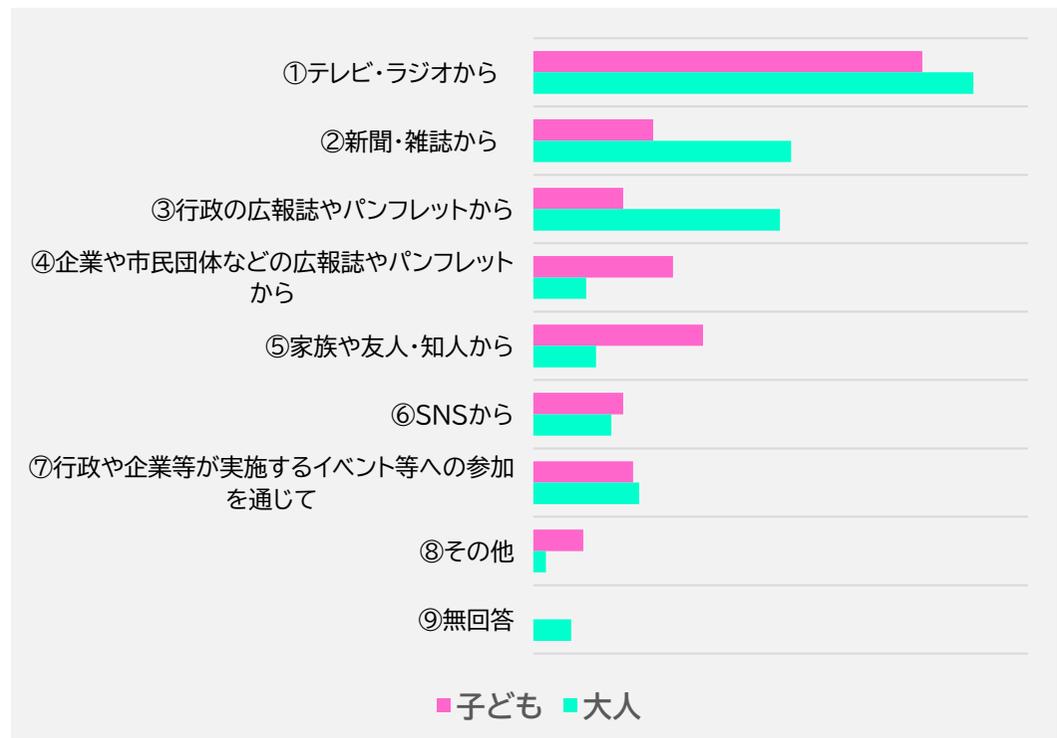


8-1. 「8」の質問で「その他」を選択された方はご記入ください。

- ・下水道の老朽化
- ・食品ロス

9.環境問題等に関する情報はどのように入手していますか。(いくつでも)

年代別	①テレビ・ラジオから	②新聞・雑誌から	③行政の広報誌やパンフレットから	④企業や市民団体などの広報誌やパンフレットから	⑤家族や友人・知人から	⑥SNSから	⑦行政や企業等が実施するイベント等への参加を通じて	⑧その他	⑨無回答
子ども	62.9%	19.4%	14.5%	22.6%	27.4%	14.5%	16.1%	8.1%	0%
大人	71.2%	41.7%	39.9%	8.6%	10.1%	12.6%	17.1%	2.0%	6.1%



9-1. 「9」の質問で「SNSから」を選択された方は具体的に記入してください

- ・インスタグラム
- ・フェイスブック
- ・X(旧Twitter)

9-2. 「9」の質問で「その他」を選択された方は具体的に記入してください

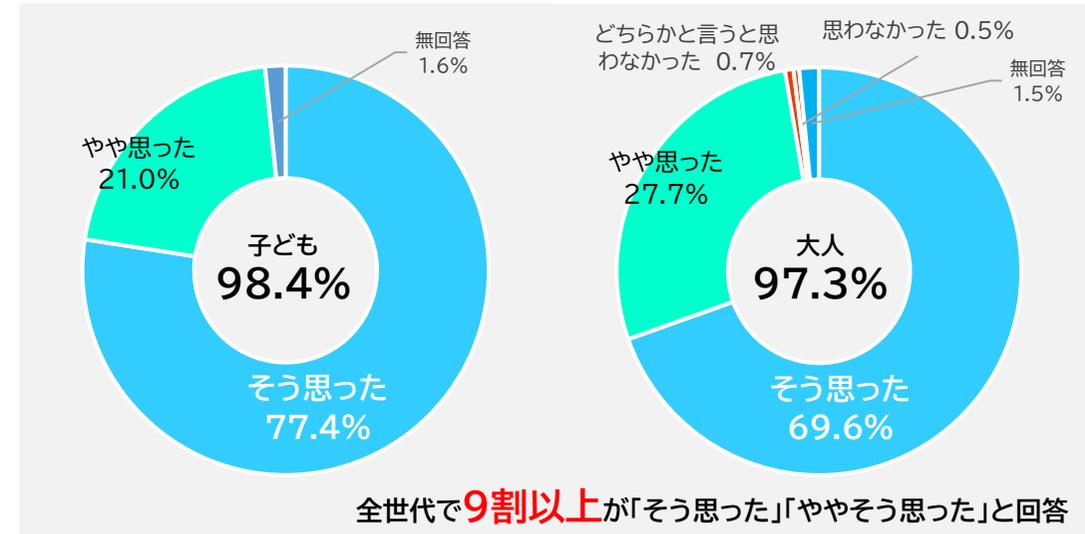
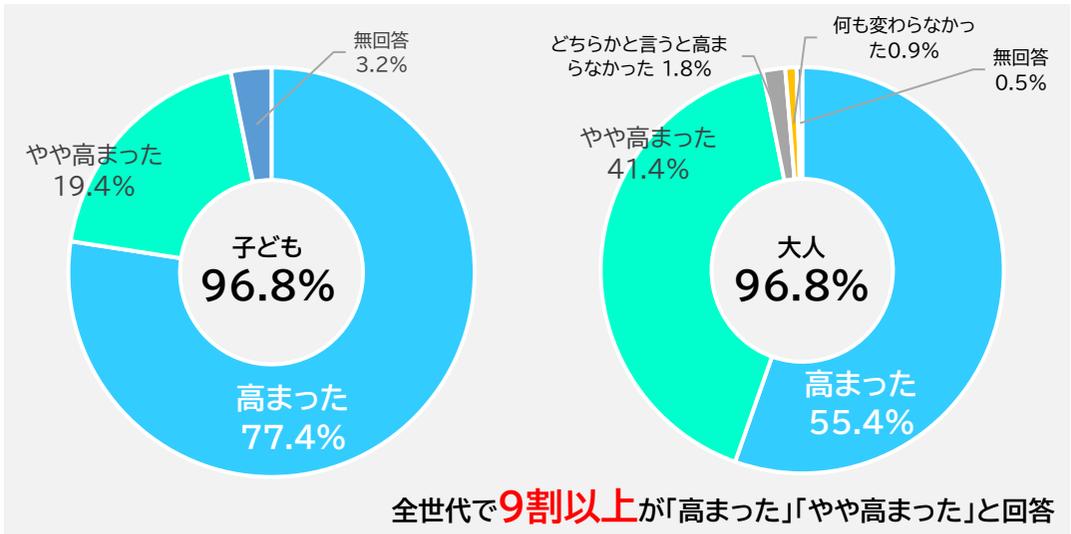
- ・ネットニュースから
- ・インターネットで気になったワードを検索して
- ・自身が環境活動をしているのでそこから
- ・学校の授業で

10.「環境フェスティバルふくおか2024」に来場(参加)して、以前よりも環境問題等への関心が高まりましたか

12.「環境フェスティバルふくおか2024」に参加して、以前よりも節電など「環境にやさしい行動」に取り組みたいと思いましたか

年代別	高まった	やや高まった	どちらかと言うと高まらなかった	何も変わらなかった	無回答
子ども	77.4%	19.4%	0.0%	0.0%	3.2%
大人	55.4%	41.4%	1.8%	0.9%	0.5%

年代別	そう思った	やや思った	どちらかと言うと思わなかった	思わなかった	無回答
子ども	77.4%	21.0%	0.0%	0.0%	1.6%
大人	69.6%	27.7%	0.7%	0.5%	1.5%



11.「10」の質問に回答された理由を教えてください。

- ・身近なところから取り組みそうだから
- ・自分でも実行できそうなことがあったので
- ・企業の取り組みがわかったから
- ・フロンのことやバッグのコンポストがあることなど、知らない活動を知ることが出来たから
- ・車のリサイクル料がどのように使われているか知ることができ、その他のリサイクルに関することにも関心が持てた
- ・食品ロスが多いということを知ることができたので
- ・丁寧な説明ボードが多かったから
- ・ゴミの分別を改めて学べたから
- ・漁師さんとダイバーさんのトークを聞いて、身近なことだからやるのが大事だと思ったから
- ・循環して作る野菜などをみて

13.「12」の質問に回答された理由を教えてください。

- ・写真パネルをみて子どもたちの未来が心配になったから
- ・身近なことから取り組みそうだから
- ・出来る事から取り組むことができそうだから
- ・資源には限りがあると感じたから
- ・環境に対しての意識が変わったから
- ・自分の周りの事だから
- ・今まで捨ててしまっていたものが、リサイクルできることを知ったため
- ・再利用(アップサイクル)が様々あり勉強になったから
- ・プチプチの回収を知れたので、ぜひ活用したと思ったから
- ・自分の行動ひとつが環境に影響すると思ったから
- ・まだまだ自分の取り組みが甘いと思ったから

14. 地域での環境学習や環境保全活動をより充実させるために、福岡市(行政)に取り組んでほしいことがあれば自由にご記入ください。(記入)

■子ども(10代以下)

- ・こういうイベントをもっと増やしてほしい
- ・ごみ拾いを企画してほしい

■大人(20代以上)

- ・食料自給率をあげる
- ・学校などへのセミナー
- ・現在取り組んでいる活動を継続して欲しい
- ・小学生のうちにもっと意識できるような体験型の教育をしてほしい
- ・ここ数年、木が少なくなっているため公園や学校や街路樹を切らないでほしい
- ・不燃ごみの回収日を増やしてほしい
- ・コンポスト助成金を今回初めて知ったので、色んな助成金についてもっと周知するような活動をして欲しい
- ・公共施設で間伐材の利用
- ・このようなイベント等を通した市民への啓蒙活動
- ・リサイクルボックス設置の増設
- ・古着のリサイクルボックスを増やしてほしい
- ・リサイクル回収をゴミの日のように、回収しやすくして欲しい
- ・テトラパックの回収場所、リサイクル手段がほしい
- ・定期的にゴミをみんなで回収するイベントをやってほしい
- ・公民館など身近なところでの学習会
- ・環境活動の団体の紹介などを各区役所に設置してほしい
- ・災害が心配であるため、太陽光、電気設備の補助などをもっと行ってほしい
- ・区役所・市役所などでもっとリサイクル(油や衣類・プチプチ)できる所を増やしてほしい
- ・企業取り組みなども積極的に紹介してほしい

15. 2050年の福岡市の環境はどのようになってほしいですか。あなたの理想の「福岡市の将来のまちの姿」について自由にご記入ください。(記入)

■子ども(10代以下)

- ・環境も豊かでありながら今のように活性化した社会
- ・地球にやさしい人しかいないまち
- ・人も生き物も共存できるよう、環境に配慮したよい都市
- ・私たち人間と自然の生きものが共存できるまち
- ・次の世代も住むことができるような環境に優しい都市
- ・人と生き物が共存できる社会になってほしい
- ・川や海が綺麗で、自然と地域の活動でゴミ拾いができているような環境
- ・街にごみが落ちていない
- ・きれいで多くの人が住みやすいと感じるまち
- ・緑と花とゆめいっぱいまち

■大人(20代以上)

- ・人に優しいまち
- ・ゴミのポイ捨てがないまち
- ・自然を重視したまち作り
- ・循環型の都市の構築
- ・今以上にすみやすい福岡でいてほしい
- ・県外の方が福岡市に住みたいと思える環境作りを続けてほしい
- ・豊かな自然のあるまち
- ・ゴミの落ちてないまち
- ・綺麗な水と自然のあるまち
- ・自然と共存、共生できるまち
- ・街中に緑や花、小さな畑など自然が身近にあるまち
- ・バランスのとれた都市開発
- ・環境にやさしいまち
- ・九州、日本の環境リーダー都市
- ・市民1人1人が環境に関心を持てるまち
- ・空気のきれいなこいのあるまち
- ・都会であり自然との融合をはかる
- ・自然と共生し、ビルの屋上の緑化などまちの中にも緑がある状態

■ 対象者 体験ツアーイベントに参加した方

■ 回答方法 デジタル・紙での回答

■ 回答人数 計100名（子ども49名・大人51名）

■ 回答内訳 子ども/10代以下 大人/20代以上

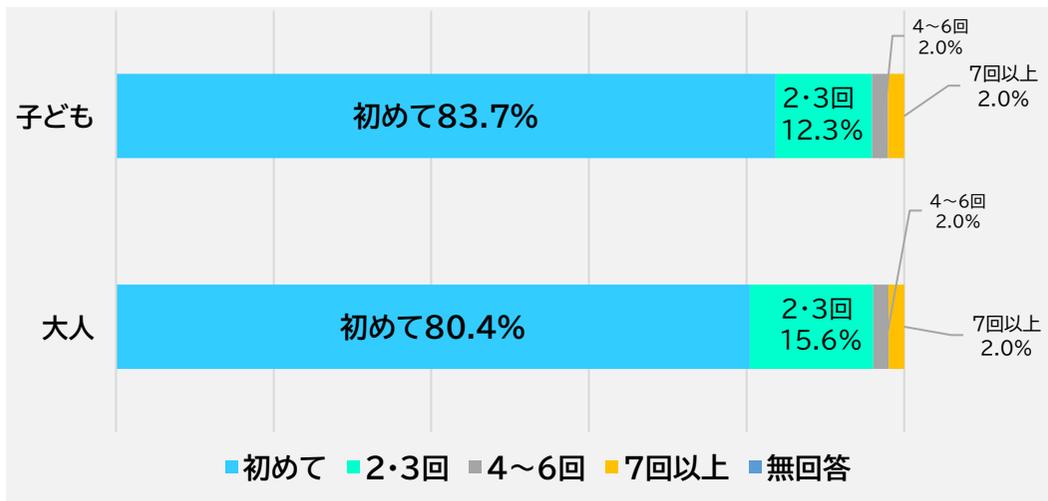
1.年齢

～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
49.0%	0.0%	6.0%	32.0%	7.0%	1.0%	1.0%	4.0%

2.お住まい

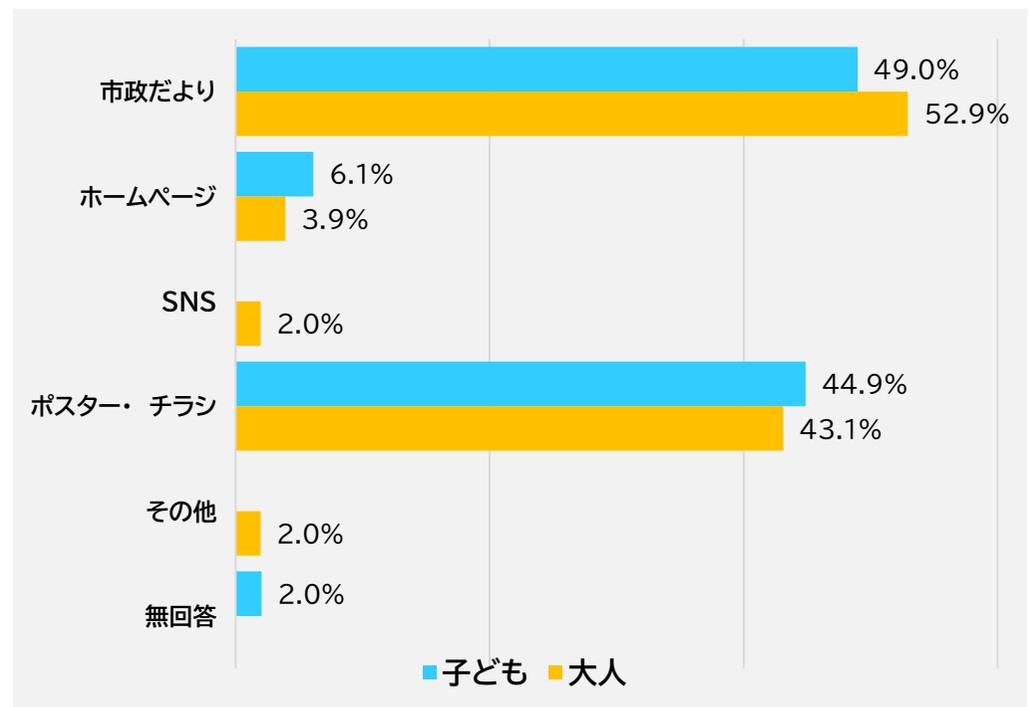
年代別	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	無回答
子ども	14.3%	8.2%	16.3%	24.5%	12.2%	18.4%	6.1%	0.0%
大人	9.8%	7.8%	15.7%	27.5%	11.8%	17.6%	7.8%	2.0%

3.これまで「環境フェスティバルふくおか」に来場(参加)されたことはありますか？

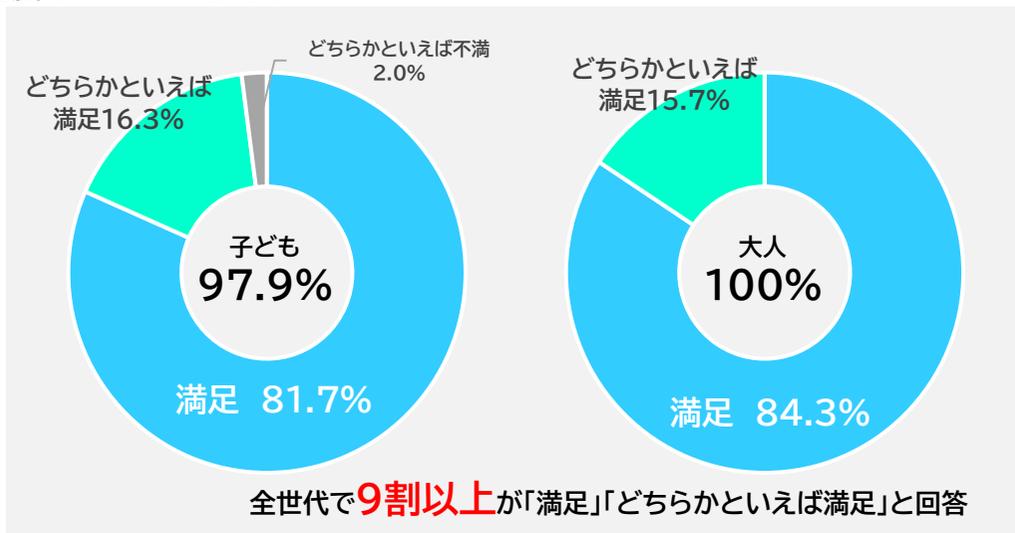


4.「環境フェスティバルふくおか2024(体験ツアーイベント)」に来場(参加)されたきっかけは何ですか(いくつでも)

年代別	市政だより	ホームページ	SNS	ポスター・チラシ	その他	無回答
子ども	49.0%	6.1%	0.0%	44.9%	0.0%	2.0%
大人	52.9%	3.9%	2.0%	43.1%	2.0%	0%



5.「環境フェスティバルふくおか2024(体験ツアーイベント)」の総合的な満足度はいかがでしたか



6.「5」の質問で回答された理由を教えてください。(記入)

■トヨタ自動車九州宮田工場見学ツアー

■子ども

いろいろな車に乗ることができ、焼きマシュマロも食べられて満足だから/水素自動車についてトヨタで行う取り組みが分かったから/説明が分かりやすく、体験もたくさんできたから

■大人

水素者について詳しく知ることができ、環境(地球温暖化対策)について学ぶことができたから/水素という新しいエネルギーについて、トヨタの方から直接教えていただき、質問も快く答えていただいたから/時間も丁度良く、内容もよかったから

■福岡バイオフィードリサイクル工場見学ツアー

■子ども

新たにバイオフィード発電について知ることができたから/1つ1つの工程の説明が詳しく、わかりやすかったから/バイオフィードリサイクルの仕組みを初めて知ることができたから

■大人

ごみ、食品ロスについて子どもが考える機会になったから/食べ残し、食品廃棄などは肥料にしかないと思っていたが、まさかメタンガスで電気を作るとは驚きだった/福岡市にある施設なのに知らなかったし、この機会に学ぶことができて良かったと思ったから

■ためとつと&植物園見学ツアー

■子ども

「ためとつと」の仕組みがよく分かったから/食虫植物の仕組みが知れてうれしかったから/ためとつとの模型がすごかったから

■大人

ためとつとで水資源の再利用ができることが分かり今後の環境について考えさせられたから/とても興味深いテーマで子どもだけでなく同行している大人も楽しめたから/子どもも自学の興味を持つきっかけがたくさんあったから

■FUNクリーンアップ体験ツアー

■子ども

お話を聞いて勉強になった/色々なゴミを拾って楽しかった/AエリアとBエリアが遠かった

■大人

体験を通して自分が出しているゴミ一つ一つの先の姿を考えることができたから/海をきれいにするには川、川をきれいにするには身の回り大事だと知ったから/今まで気づかなかったゴミを見ることができ、良い刺激になったから

■再生可能エネルギーツアー

■子ども

電気の作り方を学べ、自転車をこいで電気の大切さを知ったから/自分の知らない再生可能エネルギーを知ったから/毎日使う電気のありがたみが分かったから

■大人

子どもの環境教育に有益だったし自身の理解も深まったから/再生可能エネルギーの説明が分かりやすかったから/普段は環境について学ぶ機会がないが今回はツアーに参加したことで勉強になったから

■日本ミツバチの「博多ハニー」採蜜体験ツアー

■子ども

日本ミツバチが攻撃的ではないことなど、ミツバチのことをいろいろ知れたから/ハチの生態などについて知ることができ、たくさんの疑問を持たれたから/日本ミツバチのことをたくさん知れて面白かったから

■大人

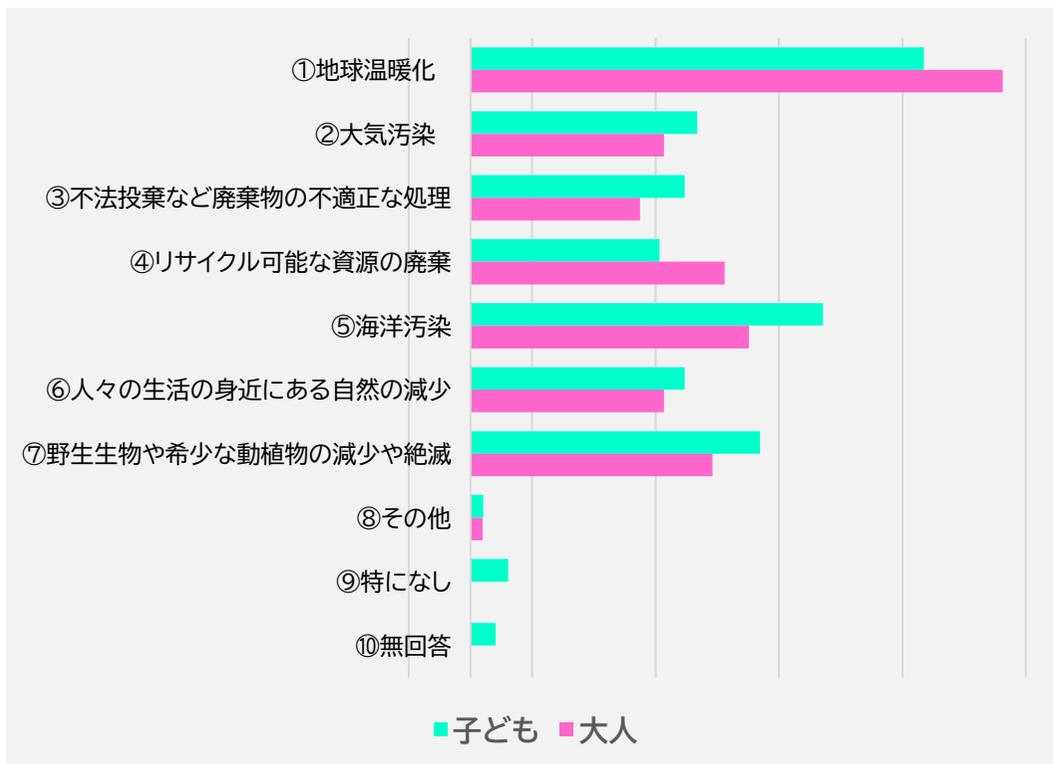
日本ミツバチについて詳しく知ることができ、実際に近くでミツバチや蜜を見れたため/知らない身近な環境問題に気付くことができたから/ミツバチと触れ合えたから

7.あなたの身の回りの環境についてどのように感じていますか

年代別	良くなっている	やや良くなっている	やや悪化している	悪化している	無回答
子ども	20.4%	44.9%	14.3%	10.2%	10.2%
大人	7.8%	41.2%	41.2%	5.9%	3.9%

8.現在、どのような環境問題に関心をお持ちですか。(いくつでも)

年代別	①地球温暖化	②大気汚染	③不法投棄など廃棄物の不適正な処理	④リサイクル可能な資源の廃棄	⑤海洋汚染	⑥人々の生活の身近にある自然の減少	⑦野生生物や希少な動植物の減少や絶滅	⑧その他	⑨特になし	⑩無回答
子ども	73.5%	36.7%	34.7%	30.6%	57.1%	34.7%	46.9%	2.0%	6.1%	4.1%
大人	86.3%	31.4%	27.5%	41.2%	45.1%	31.4%	39.2%	2.0%	0.0%	0.0%

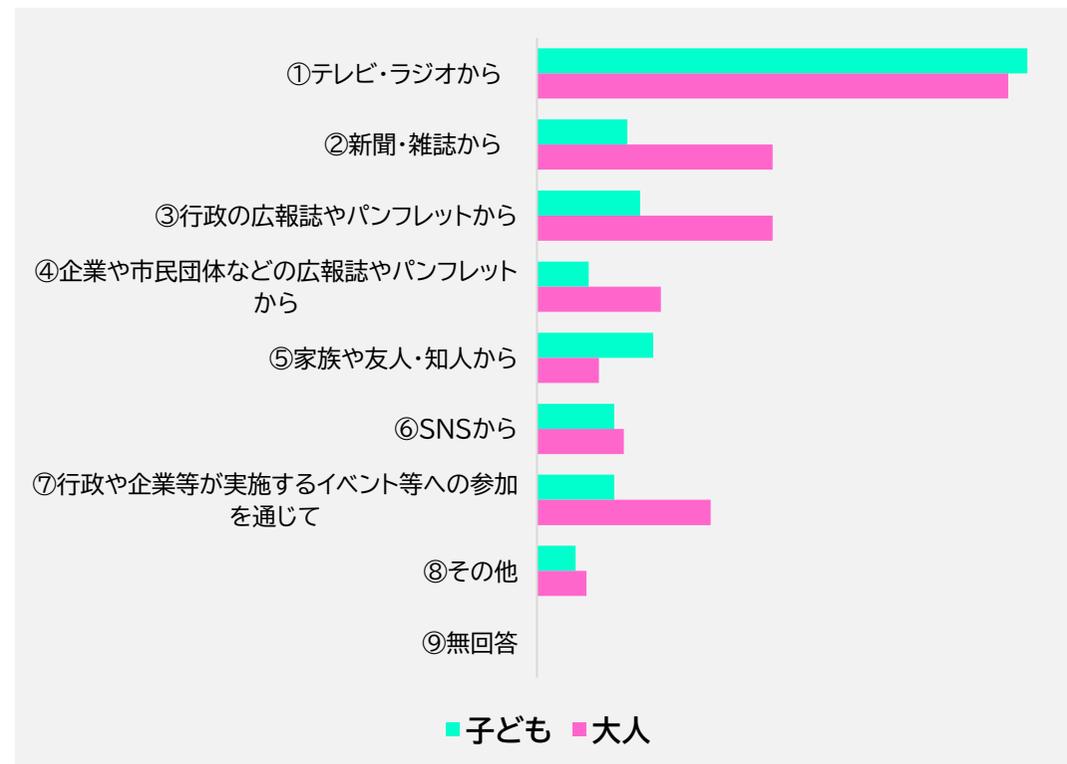


8-1. 「8」の質問で「その他」を選択された方はご記入ください。

- ・排水溝に煙草を捨てること
- ・外来生物が日本で繁殖していること

9.環境問題等に関する情報はどのように入手していますか。(いくつでも)

年代別	①テレビ・ラジオから	②新聞・雑誌から	③行政の広報誌やパンフレットから	④企業や市民団体などの広報誌やパンフレットから	⑤家族や友人・知人から	⑥SNSから	⑦行政や企業等が実施するイベント等への参加を通じて	⑧その他	⑨無回答
子ども	77.6%	14.3%	16.3%	8.2%	18.4%	12.2%	12.2%	6.1%	0.0%
大人	74.5%	37.3%	37.3%	19.6%	9.8%	13.7%	27.5%	7.8%	0.0%



9-1. 「9」の質問で「SNSから」を選択された方は具体的に記入してください

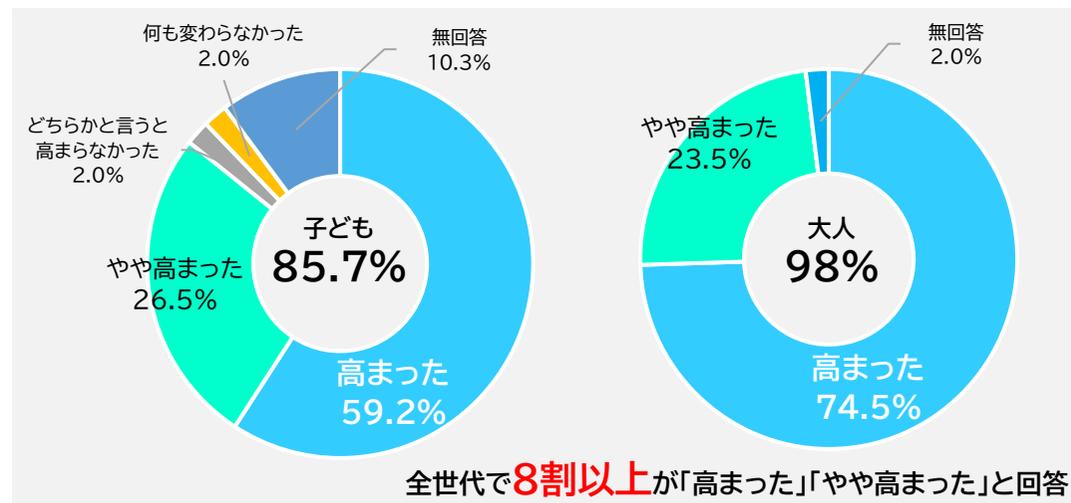
- ・Instagram
- ・LINE
- ・X(旧Twitter)
- ・YouTube

9-2. 「9」の質問で「その他」を選択された方は具体的に記入してください

- ・インターネット
- ・小学校の取組みやチラシなど
- ・書籍等

10.「環境フェスティバルふくおか2024(体験ツアーイベント)」に来場(参加)して、以前よりも環境問題等への関心が高まりましたか

年代別	高まった	やや高まった	どちらかと言うと高まらなかった	何も変わらなかった	無回答
子ども	59.2%	26.5%	2.0%	2.0%	10.3%
大人	74.5%	23.5%	0.0%	0.0%	2.0%



11.「10」の質問に回答された理由を教えてください。

■ 子ども

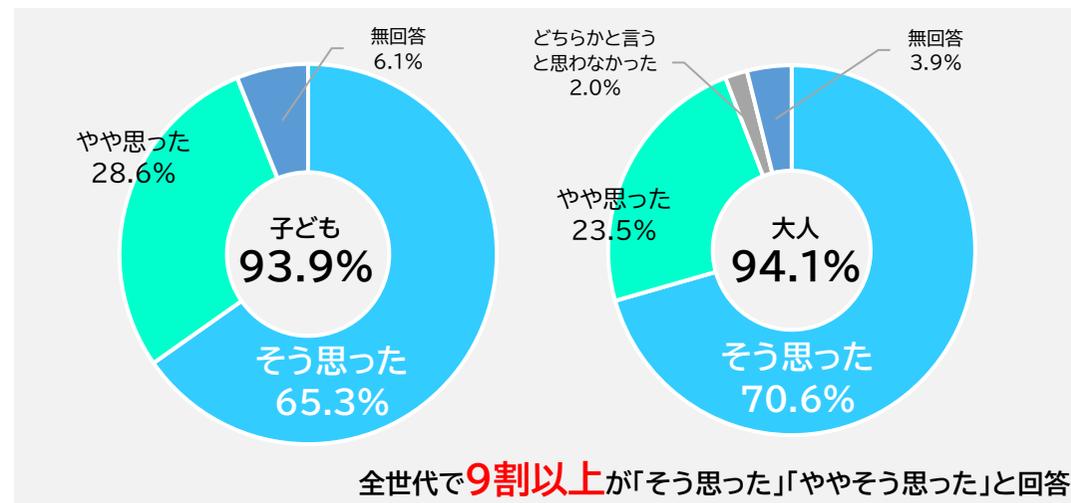
- ・環境問題は人の命がかかっているから
- ・温暖化が進んでいることを再確認できたから
- ・新たな環境問題を知れたから
- ・絶滅の危機になっている植物があるから
- ・CO2やこれからの温暖化などに興味を持ったから
- ・いろいろな物事に環境問題が影響しているんだと実感したから

■ 大人

- ・水素エネルギーについてもっと学習してみたいと思ったから
- ・ツアーで食品ロスの多さも目の当たりにしたから
- ・何から手を付けたらよいかわからなかったので良いきっかけになったから
- ・エネルギーの取り組みが分かったから
- ・2050年と将来の子どもたちをめぐる数字が具体的だったため

12.「環境フェスティバルふくおか2024(体験ツアーイベント)」に参加して、以前よりも節電など「環境にやさしい行動」に取り組みたいと思いましたか

年代別	そう思った	やや思った	どちらかと言うと思わなかった	思わなかった	無回答
子ども	65.3%	28.6%	0.0%	0.0%	6.1%
大人	70.6%	23.5%	2.0%	0.0%	3.9%



13.「12」の質問に回答された理由を教えてください。

■ 子ども

- ・節電をしないと自然環境にも影響が出ると思ったから
- ・電気がなければ生活できないから
- ・これからは、自分も協力できることはないかと考えてみようと思ったから
- ・廃棄される食材の多さを知り、もっと食べられるものはしっかり食べようと思ったから
- ・いつもは節電を心掛けてなく、このイベントをきっかけに節電しようと思ったから
- ・このままでは地球温暖化が進んで、気温が高くなったり、食べ物が減ったりするから

■ 大人

- ・実際に何ができるかは難しいと思ったから
- ・自分だけがやっても、ではなく、少しずつの積み重ねが大事だと感じたから
- ・少しでも小さな一歩が必要だと感じたから
- ・1人1人の意識が環境に大きくつながると考えたから
- ・子どもたちの世代にこの環境を少しでも良い状態で残していきたいと思うから

14. 地域での環境学習や環境保全活動をより充実させるために、福岡市(行政)に取り組んでほしいことがあれば自由にご記入ください。(記入)

■子ども(10代以下)

- ・ガソリンスタンドのように水素ステーションを増やしてほしい
- ・イベントで環境のことをより詳しく教えてほしい
- ・地域のゴミ拾い
- ・リサイクルボックスを増やす、無料の水提供BOXみたいなのがたくさんあれば良い
- ・「煙草のポイ捨て」をしたら「罰金」を取る決まりを作ったら良いと思う
- ・ゴミ拾いや木を植えたり、学校で温暖化学習を行う
- ・いろいろまんべんなく過ごしやすくしてほしい
- ・ごみをごみ箱意外には捨てないような取り組みをしてほしい
- ・学校で環境問題の授業をしてほしい
- ・お花畑や森をもっと増やすイベントをしてほしい
- ・リサイクル活動をやってほしい

■大人(20代以上)

- ・小学校の授業で教科書以上に踏み込んだ話をしてほしい
- ・水素についてのイベントを学校ごとに行って深めてもらいたい
- ・下水道(水処理)の見学をしてみたい
- ・危機的状況の見える化(数値化)
- ・子どもと一緒に経験・体験して学べる機会があると嬉しい
- ・公民館等の小規模でも地域を中心としたイベントも有ると良い
- ・ためとつとのような面白いシステムを色々紹介してほしい
- ・家庭ゴミの上手な減らし方を教えてほしい
- ・子どものうちに、一人一人にゴミ分別の正しい方法を実際にさわらせ体験することで、分別することを学ばせてほしい
- ・子どもの時から、環境を守る大切さを教えて欲しい
- ・ペットボトルの回収がポイント制になるような取り組みをしてほしい
- ・再エネや自然保護のフィールドの紹介をしてほしい
- ・体験学習を増やしてもらいたい
- ・生ごみの再生可能エネルギー等、子どもが身近に感じやすいものを学校に設置してほしい
- ・このような学習に参加できる機会を多く作ってほしい
- ・小学校の花壇で花を育てるなどしてほしい

15. 2050年の福岡市の環境はどのようになってほしいですか。あなたの理想の「福岡市の将来のまちの姿」について自由にご記入ください。(記入)

■子ども(10代以下)

- ・水素自動車が走っているまち
- ・絶滅した昆虫が見られるようになるまち
- ・自然いっぱい環境にやさしいまち
- ・自然も建物もあってCO2を出さないまち
- ・自然豊かで暮らしやすいまち
- ・再生可能エネルギーであふれる街
- ・自然を大切に環境がより豊かになっているまち
- ・CO2を排出せずに電気と水素だけで暮らしていけるまち
- ・環境にやさしく、人間も便利になるものが開発し実用されている街
- ・緑にあふれて空気が澄んでいる福岡。タバコや覚せい剤が無い福岡。
- ・夏も涼しくて、ごみなどが捨てられていないまち
- ・環境問題や犯罪のないまち
- ・夏はあまり気温が高くない、電気自動車が普通になっているまち
- ・綺麗で清潔なまち

■大人(20代以上)

- ・子どもの世代が過ごしやすいまち
- ・過剰な包装やゴミのないすっきりした(コンパクトな)まち
- ・電線が地下にあって見通しのいいまち
- ・カーボンニュートラルの実現、四季の復活
- ・地方独自の仕組みを生かした街づくり
- ・再生可能エネルギーの利活用
- ・人と環境にやさしいサステナブルな都市
- ・街中にも緑が増え温暖化が治まってほしい
- ・きれいな空気と海や山を次世代に残してほしい
- ・本来の自然を守りながら、自然と共存できるようにしてほしい
- ・九州、日本の環境政策をリードしつつ、成長を続ける持続可能な開発を実践する都市
- ・大人も子どもも性別も関係なく、仲良く暮らせるまち
- ・わが子が子育てをするときにも、虫遊びや自然と触れることができるまち
- ・人間が便利に暮らせるだけでなく、自然が残るまち
- ・海も山も都心が近い福岡市の都会の良さ自然の良さをこれからも守っていききたい